

【佳作】

「返還への道のりは遠く」

七飯町立七飯中学校

2年 大清水 愛夏

「もし、日本に北方領土が返還されたら、そこに住みたいですか？」

この質問は少し昔、北方領土についてのアンケートの際に使われたものです。私ならば『住みたいとは思わない』と回答するでしょう。なんと、アンケートをとった当時、私と同じように回答した人が他にも多くいたようなのです。

1991年10月にとられたアンケートによると、

「返還されたら、北方四島に住みたいか？」『住みたい』と答えた人は30パーセント、『住みたいとは思わない』と答えた人は42パーセントを占めています。次に、

「返還されたら、北方四島に住むことができるか？」

という質問をしたところ、『できる』と答えた人は39パーセント、『できない』と答えた人は60パーセント、全体の約半数を占めていました。さらに、これが二・三世となると、『住めない』と回答する人が71パーセントにも達します。

この結果を見て、最初は驚きましたが・・・よく考えてみると、安定した現在の生活をなげうってまで、四島に住もうと思わないのは、当然かもしれません。しかもこのアンケートは1991年にとられたものですから、30年近くたってしまう今では、さらに北方領土に対する意識は低くなっているだろう・・・と予想されます。

今、北方領土へロシアからの移住が進んでいます。移住している人たちには、国からお金が支給されているそうです。そのことを目当てとして島に住むロシア人の中には、経済的に豊かになるのなら、『北方領土が日本のものとなっても構わない』と考えている人もいます。

なぜロシアは北方領土を手離さないのでしょうか。それは北方領土がロシアにとって重要な場所だからです。戦争が起こる以前から、北方領土は豊かな海産物に恵まれた島として世界でも有名な漁場でした。ロシアは、そのような資源を必要としていたのでしょうか。そして今や、ロシアの軍事拠点でもあります。アメリカ合衆国をはじめとする国々への対抗策としても、北方領土は色々と都合の良い位置にあるといえます。

それでもやはり、

「ソ連が元はといえば悪いのだから、日本に返還されるべきだ」

という意見が残るでしょう。しかしそれでは返還の際、現島民はどうなってしまうか？という問題が発生します。一番島が還ってきて嬉しいはずの旧島民の間でも、『半世紀前に島を追い出された我々が、同じことを現島民にするわけにはいかない』という声が上がっているようです。

以上のことから私は、北方領土を日本とロシアで共有すべきだと思います。そこから日本とロシアの絆が生まれる島として、両国が共に歩いていくことを願い、私自身も北方領土問題とこれからも真剣に向き合って、心の中に留めていきたいと思います。